AreaCopa

areacopa.com/ja/blog/ichinichi-taikai-sukejuru

サッカーの1日大会チェックリスト

午前、午後、終日のどの枠でも、1日で終える

この資料はareacopa.comが提供しています。

大会名 _____ 大会日 _____ 大会責任者 _____

大会前の設定

最初に時間の枠を決め、そこから順に決めます。

- [ ] 時間の枠を決める（午前3時間、午後5時間、終日約8時間）
- [ ] チーム数を確定（午前4〜6チーム、午後6〜8チーム、終日10〜12チーム）
- [ ] 形式を選ぶ（トーナメント戦のみ、短い総当たり、予選リーグ＋決勝トーナメント）
- [ ] 1試合の時間を決める（JFAの目安：小学1・2年生5分×2、小学3・4年生7分×2、U-12が同日2試合なら15分×2で1人の出場45分まで）
- [ ] 勝点が並んだときの順序を要項に書く（例：JFA全日本U-12は勝点、得失点差、総得点、当該チーム同士の対戦成績、抽選）
- [ ] トーナメント戦で引き分けたときの決め方を書く（すぐPK戦か延長のあとPK戦か、3人のPKで決まらないときの扱い）

受付とチームの抽選

大会の前、または当日に行います。

- [ ] 各チームの選手名簿を受け取るか、当日の抽選の方法を決める（キャプテン指名、くじ引き、学年ミックス）
- [ ] 抽選は最初の試合の前に行い、紙に書いて全チームが見える場所に貼る
- [ ] 各チームの責任者と連絡先を記録
- [ ] 参加費を決める（例：川崎市のU-10の大会は0円、相生市の市長杯は1カテゴリー8,000円）、または寄付・物の協力・地元の協賛で補う
- [ ] 保険の加入を確認（チーム側の加入、審判や指導をする大人はスポーツ安全保険のクラスCまたはB）

会場と備品

大会当日の朝までにそろえます。

- [ ] コートを予約（午前1面、午後2面で6チームなら1面も可、終日2面、公共のグラウンドは抽選の場合あり）
- [ ] 審判を手配（コート1面につき1人以上、本部席の係1人、代わりの4人目）
- [ ] ゴール、ネット、試合球、笛を会場に用意
- [ ] ストップウォッチ、カード、試合の記録用紙、順位表とトーナメント表を本部席に用意
- [ ] 全チームと審判の分の飲み物と救急用品を用意し、119番の連絡とAEDの場所を確認
- [ ] 夏はWBGTを確認し、クーリングブレーク分（1試合約6分）と雷の中断30分を予備に入れる

当日の進行表

枠ごとに具体的な時刻を記入します。午前は3時間でコート1面、午後は5時間でコート2面、終日は約8時間でコート2面です。

時刻	内容	担当

審判の打ち合わせ（開始前に15分）

保護者や先生が審判を務めるときに、特に大切です。

- [ ] 計時：誰が始めるか、誰がアディショナルタイムを記録するか、誰がハーフタイムの笛を吹くか
- [ ] カードの扱い：警告、退場、必要なら一定時間の退場、警告2回は退場
- [ ] 不戦敗の扱い：開始時刻から10分待ち、現れなければ不戦敗、得点は要項に従う（例：鳥取県のJFA U-12サッカーリーグは0対10）
- [ ] けがの中断：待つのは最大5分、そのあとは交代か試合の中止
- [ ] 結果の引き渡し：審判が本部席に結果を記入
- [ ] 本部席が試合ごとに順位表とトーナメント表を更新

表彰式と終了

決勝のあとに、表彰式と片づけの時間を取っておきます。

- [ ] 優勝チームにカップ
- [ ] 1〜3位（または4位）に賞状
- [ ] 個人賞や優秀選手賞
- [ ] 順位をつけない大会では全員に参加賞
- [ ] 地元の協賛者の名前を表彰式で紹介

メモ